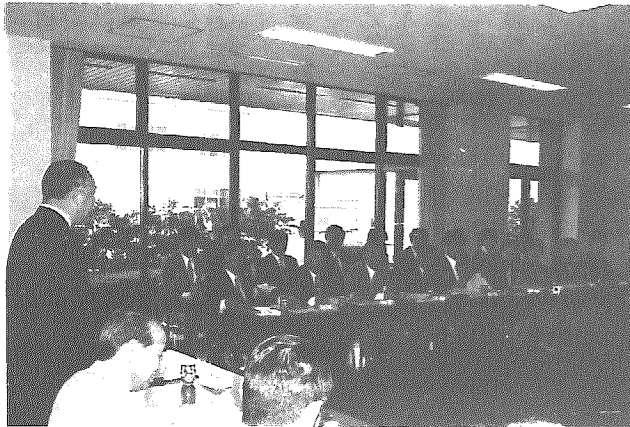


姉妹村美浦村の職員来町  
両町村交流の絆を深め合う

4月29日と30日の2日間、姉妹村茨城県美浦村から萩田収入役さんはじめ、職員20人が来町し、施設研修と職員交流が行われました。

1日目は、阿賀野川床固め公園で開催されたチューリップフェア、総合体育館や保健センターなどの町内公共施設を視察研修し、担当職員の説明に熱心に聞き入っていました。2日目は、役場で職員交流会を開き、最初に浅見町長より横越町の町づくりについて講話があり、続いて両町村の概要を説明し合った後、総務・文教厚生・産業建設の3グループに分かれて業務の実態や課題などについて意見交換を行い、お互い学び合いながら両町村の交流を深めました。



さつき晴れのもと、旬の風味を楽しむ  
竹のこフェアフジコマ'98開催

5月9日、「竹のこフェアフジコマ'98」が同実行委員会の主催で藤山・駒込地区のJA野菜集出荷所にて開催されました。

このフェアは今年で6回目。天候にも恵まれ、町内外から家族連れなど多くの人々が駆けつけ、竹の子掘りなどを体験しました。また、野立て、竹細工の実演、農産物の販売、竹の子汁の無料サービスのほか、今年は竹の子の風味を存分に味わってもらおうと、新たに竹の子ご飯の試食も加わり、大変盛り上がりしました。



川根谷内で「親子ふれあい農業体験」  
サツマイモ、かぼちゃなどを植え付ける

5月17日、川根谷内地域公民館（館長 高橋惣衛）主催の「親子ふれあい農業体験事業」が開催されました。

農業体験は青少年の健全育成の一環として行っているもので、今年で3回目。今回は地域の親子合わせて70名が参加しました。昨年は田植えを実施し、今年は川根谷内公会堂近くの石川敬一さんの畑を借りて、サツマイモやジャガイモ、かぼちゃ、ひょうたんなどの苗を植えました。

秋には収穫祭を予定しており、参加したみなさんは早くも実りの秋を待ちどうしそうにしていました。

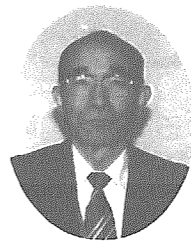


町特産品の長芋づくりを自ら体験  
オーナーが種芋を植え付ける

5月17日、町特産の長芋づくりを自ら体験して横越の長芋の良さを確かめてもらおうと、「阿賀の里づくり・よこごし」と「AFカガヤキ」が募集した長芋オーナーが焼山のAFカガヤキの圃場に集い、種芋を植え付けました。

約100名のオーナーのほとんどは町外の人たちで、新潟市の人が大半でした。オーナーたちは、堆肥が施され整地された畑へ、1本1本でいねいに種芋を並べ、土を被せる作業をしていました。今回植え付けた長芋は、半年後にオーナーたちが自分の手で収穫する予定です。

横木登志次さん（川根谷内・七十二歳）が、勲七等瑞宝章を受章しました。横木さんは新潟刑務所に約三十八年間勤務し、収容者の戒護、処遇、警備などの矯正業務に尽力されました。（受章のことは）



春の叙勲 勲七等瑞宝章  
横木 登志次さん 受章

叙勲の榮譽を受け、感謝して受章しました。この榮譽は決して私一人で受けられるものではなく、親族妻子の支えがあってのことと痛感しています。今後は地域の発展、家族の幸せを願い、自分なりに頑張ります。

県知事表彰に  
本間玲子さん

今年三月に役場を退職された本間玲子さん（保健婦）が、長年保健婦業務に専念し、保健衛生の向上に努力したことで、県知事より表彰されました。

横越町社会福祉協議会  
新役員体制の紹介

4月23日に開催された町社会福祉協議会理事会にて新役員が決定されましたのでお知らせします。任期は平成10年4月から平成12年3月までの2年間です。（敬称略）

役職	氏名	選出母体
会長	岩田 大	学識経験者
副会長	仲村 幹雄	二本木地区代表区長
理事	陸 庄 倫	民生委員協議会
理事	大森 勉 治	福祉関係団体代表 老人クラブ連合会
理事	谷井 篤 光	横越町商工会
理事	武藤 繁 男	横越地区代表区長
理事	伊藤 榮 蔵	沢海地区代表区長
理事	栗山 利 助	木津地区代表区長
理事	豊崎 貢一郎	小杉地区代表区長
監事	伊藤 一 夫	民生委員協議会
監事	山田 宏 一	二本木上区長

生ごみの減量に効果あり  
ポカシを利用した生ごみ処理

町では、生ごみの減量と堆肥として資源化を図る目的で、密閉容器の半額助成を行っておりますのでご利用ください。使い方は、水をきった生ごみを容器に入れ、その上にポカシを振りかけ、しっかりとふたをし、ごみがいっぱいになったら直射日光の当たらない場所で約一〜二週間置くと堆肥ができます。問い合わせは町民生活課環境衛生係まで ☎三三五―二二一



町内一斉で空き缶回収を実施

四月十九日、町内で一斉に空き缶回収が実施され、各地区ごとに回収作業が行われました。道路わきに落ちていた空き缶だけでなく、紙くずやビニールなども回収されました。みなさんの協力で三・四トンのゴミが集められ、町全体がきれいになりました。



町内一斉空き缶回収

横越中地区で子どもたちが廃品回収

五月十七日、横越中地区青少年育成会による廃品回収が行われ、地区の小学校四年生から六年生の児童と大人合わせて約八十名が参加しました。この取り組みは育成会事業の一環として年二回行っており、十年以上続けられています。



回収品目は、新聞紙や段ボールなどの紙類、酒ビンやジュースビンなどのビン類で、子どもたちは、横越中地区の各家庭をまわって玄関先などに出されて

4月資源ごみ収集実績

空きびん	9.5t
空き缶	7.4t
古紙	38.0t
合計	54.9t

6月資源ごみ収集日

地区	収集日
横越・川根谷内	9日(火)
	23日(火)
その他の地区	11日(木)
	25日(木)